

国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
国語	現代語	2	2年次・E2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
カラー版 新国語便覧		漢字検定トレーニングノート3級		2年次選択履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
高校生として求められる漢字の読み書き・ことわざ・類義語と反意語についての知識と能力を高め、漢字検定や就職試験に十分対応できるだけの言語力を身に付ける。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けていく。さらに、それらに関連付けて活用できるようになることを目指す。	ことわざ・類義語・対義語等の知識とそれを使用する場面について思考し、能力の向上を目指す。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって自己を向上させるべく自覚を持ちつつ、言葉を通じて他者や社会と関わろうとする姿勢を培う。

2 学習計画と観点別評価項目

学習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	1	漢字の読み 音読み・訓読み・熟字訓・当て字 漢字識別	4	・基礎的な常用漢字の読みの力を身に付ける。 ・漢字を読むだけでなく、その言葉が日常生活の中においてどのような意味で使われているかを理解する。	1 2 3 2 3
		2	漢字書き取り 音読み・訓読み・同音同訓異字 誤字訂正	6	・漢字を正確に覚える。 ・漢字の書き取りを通して、文章を正しく把握する力を身に付ける。	1 2 1 3
				7	・漢字を正確に書くことが、社会で必要とされている能力の一つであることを知る。	
	2 学 期	3	熟語構成・四字熟語 対義語・類義語・部首 漢字と送り仮名	9	・熟語や四字熟語など、幅広い漢字・言葉の学習を通して随想文・評論文・小説等の読解力を育成する。 ・漢和辞典に親しむ。	1 2 1 2 2 3
		4	実践模擬テスト	11	・漢字検定と同じ形式の問題を解くことを通して、幅広い漢字力を身に付ける。	1 2 3
				12		
	3 学 期	5	実践模擬テスト	1	・漢字検定に向けて、過去問題等を解きながら幅広い漢字力を身に付ける。	1 2 3
		6	難読漢字	2 3		2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○定期考査等では、事実的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスを取りながら評価する。 ○課題や提出物の状況を評価に取り入れる。 ○実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることを期し、技能もはかる多様な評価を目指す。	○定期考査等では、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いているかをはかることに注力する。 ○論述やレポート等、多彩な表現活動を評価に取り入れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているかをはかる。	○観点別学習状況の評価を通してはかる。 ○ノートやレポート、提出物等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒の自己評価等の状況も評価に当たって考慮する内容とする。
	手 段	・定期考査 ・小テスト ・提出物	・定期考査 ・授業中の活動 ・感想文など	・授業中の活動 ・感想文など ・提出物
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と学期末の評価を行い評価する。	
	学習上の留意点	・小テストの勉強や課題プリントなど、家庭学習をしっかりと授業に臨むこと。 ・ノートや問題集など、提出物は期限を必ず守ること。		